

中国帰国者と地域住民の交流

中国琵琶コンサート

出演者：王 曉東 (中国琵琶) 吉元 ミイ子 (ピアノ)

日 時：2009年6月21日(日) 午後7時開演(6時半開場)

場 所：国分寺市いずみホール Bホール

演奏曲目：天山之春、桜の木の下で、貴婦情、一輪の野バラ 等

王晓東 (中国琵琶)

1963年 中国北京市の音楽家の家に生まれ、幼少より中国琵琶の手ほどきを受ける。

1987年 中国の国立音楽大学である中国音楽学院を卒業後、中国全国総工会文工団琵琶奏者として中国各地で演奏活動を行う。

1991年 日本の琵琶に興味を持ち来日し、正派薩摩琵琶の第一人者である普門院紫城氏に師事する。

1993年 東京芸術大学大学院に入学、柘植元一教授のもと中国琵琶と日本琵琶との比較研究に取り組む。

1996年 同大学院修士課程を修了。

その後、本格的な演奏活動にはいり、ソロは勿論、さまざまな民族楽器、邦楽器、ジャズバンドとのセッションなどジャンルを越えた幅広い演奏活動や海外での活動、チャリティーコンサート等も積極的に行っている。

現在、東京芸術大学芸大で講師を勤め、2005年より練馬区で中国琵琶教室を開設し中国琵琶の普及に努めている。

またMX東京テレビ「ゴールデンアワー」(PM9～10時)において火曜日レギュラーとして活躍し、幅広く中国事情や文化の紹介を行っている。

主な製作CDとして、中国琵琶伝統曲集CD「王晓東 中国琵琶の世界」「大陸之風～王晓東 中国琵琶の魅力～」 「月下の琵琶～中国琵琶のしらべ～」(日本クラウン株式会社)「随夢～中国琵琶の世界～」を発表している。

吉元ミイ子 (ピアノ)

鹿児島県生まれ。幼少よりピアノを習う。南日本ピアノコンクールにて入賞多数。国立音楽大学で西洋音楽だけでなく、日本の琵琶に興味をもち正派薩摩琵琶を学ぶ。卒業後は合唱曲やオペラ・アリアのピアノ伴奏や様々なジャンルの音楽とのセッションや伴奏活動を展開する。

1995年・・・阪神淡路大震災のチャリティーコンサートに参加する。

2000年・・・香港、シンガポールで海外演奏に参加する。

現在はコンサート活動の他、養護施設・学校などで「もっと身近に楽しめる音楽」を目指した、皆が楽しめる参加型の音楽活動も行う。その中で、様々な民族楽器なども取り上げ、その紹介、普及にも努めている。

「中国残留邦人」とは、戦前戦後、国策により「満州」(現在の中国東北部)に送られ、戦後の混乱の中、帰国する道を閉ざされた人たちです。国交正常化後も国はすぐにはその人たちの帰国のために動こうとしませんでした。また、苦勞してようやく帰ってきて、支援は殆どない状態でした。中国で命を救われ、中国で長年暮らし、中国の文化の中で生活してきた中国帰国者の人たち、特に高齢の「孤児」として、日本語は難しく、日本の文化や習慣を理解するのは容易ではありません。

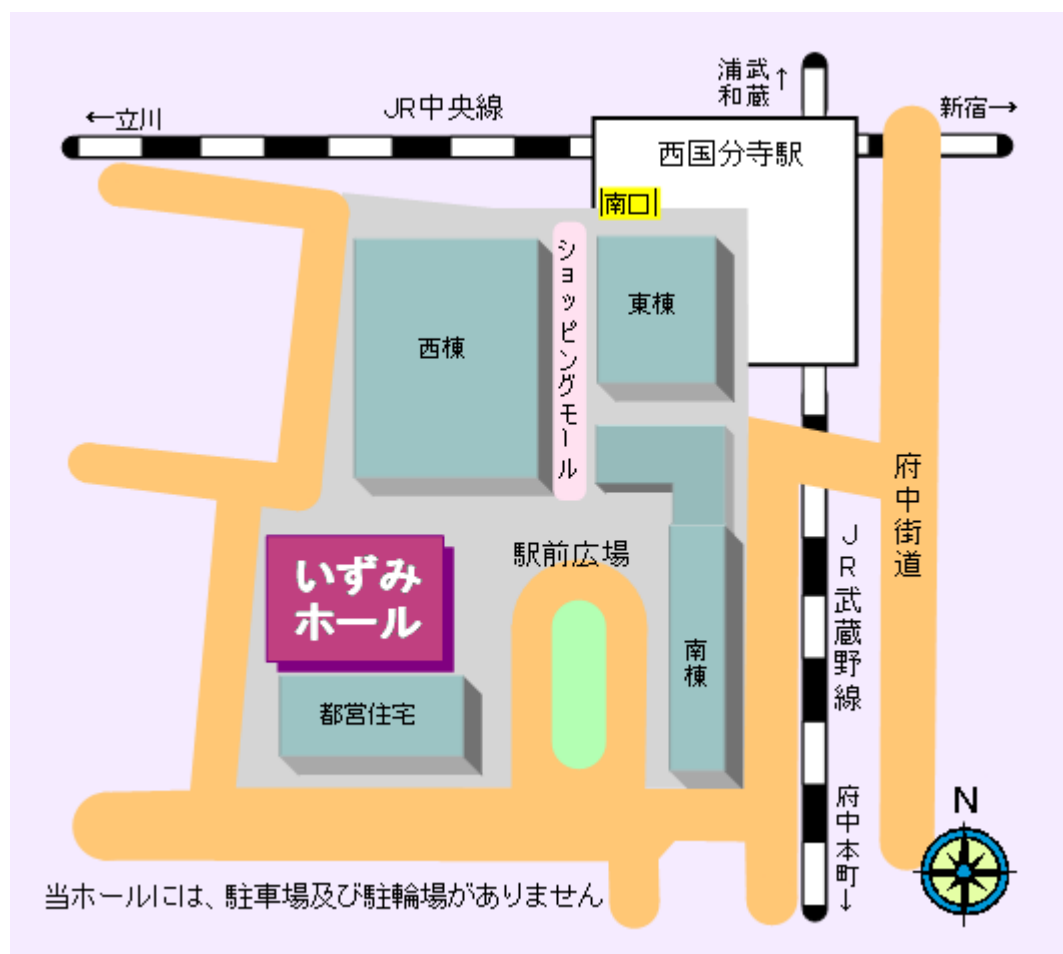
新支援策が昨年から実施されたのを機に、交流を通して互いの文化を尊重し、互いに理解し合えるような地域の中での関係作りを目指して、国立市、国分寺市で活動を始めています。このコンサートもその一環として行います。

★無料

★会場は80席です。満員の場合はお断りする場合があります。

主催：NPO法人中国帰国者の会：連絡先 03-3353-0841 (味岡・加藤)

アクセスマップ



所在地：東京都国分寺市泉町三丁目36番12号 電話：042(323)-1491